



Support with heat NEATR!

TMNGY02

NEATR コマンドシステム用語解説 (案)

NEATR (ニーター)

地域住民のための原子力緊急時援助隊(Nuclear emergency assistance team for residents)の略称。NEATR は 2016 年の 12 月、若狭地方の原子力発電所で働いたことのある原子力シニアで構成し、東電福島事故時のような悲惨な住民避難を若狭の地で起こさないことを使命として、有志により発足した。

NEATR コマンドシステム NEATR command system

NEATR 戦略本部が NEATR 隊員を指揮統制するシステム。普段顔を合わせないメンバーがボランティアとして原子力緊急時の住民支援活動を行う際に、ICS を活用して、活動目標を中心に効果的な住民支援ができるように考案したシステム。メールシステムとコマンドウェブからなる。2017 年 2 月にプロトタイプを適用し、2020 年 8 月、ライブ動画での指令を中心とする方式にリニューアルした。

ICS (アイシーエス) incident command system

国際的な原子力緊急時の関係機関の対応のフレームワークを示すシステム。インシデントコマンドシステム。NEATR コマンドシステムは、国際原子力機関(IAEA)の緊急時マニュアル「EPR METHOD 2004 : Method for developing arrangements for response to a nuclear or radiological emergency」の付録 13「Emergency response organization」に準拠させている。

コマンドポスト command post

緊急時において、適切な場所に設置し、ボランティアの NEATR 隊員を指揮統制する NEATR 戦略本部のこと。IAEA の「EPR method2004」に基づき、隊長(コマンダー)以下、4 つの機能班で構成している。なお、平常時の演習等でもコマンドポストを設置する。

NEATR コマンドウェブ neatr command web

NEATR ホームページ (<http://www.neatr-org.jp>) の「隊員専用ログイン」から、隊員番号とパスワードを使って入るウェブサイト。なお、隊員番号は関係者に一時的に付与される場合があり、記号によって識別されている。

NEATR 指令ポスト neatr command post



Support with heat NEATR!

NEATR コマンドシステムを構成するメールシステムの一部で、NEATR 隊員に参加可否を問い合わせ、参加可能な隊員に対し、ミッション実施を要請し、あわせて、これらの活動のパフォーマンスを計測するための、固定されたメールアドレス。現在、cp1 で始まるメールアドレスを設定している。

NEATR 情報連絡ポスト neatr information post

NEATR コマンドシステムを構成するメールシステムの一部で、すべての NEATR 隊員へ、緊急時の状況や地域の状況を情報として伝えるための固定されたメールアドレス。現在、cp2 で始まるメールアドレスを設定している。

NEATR 戦略本部 neatr headquarter

地域住民のための原子力緊急時援助隊規約に基づき NEATR に常時設置する会議体で、平常時は、NPO法人ワネッツ役員会の構成メンバーとして NEATR の日常活動のマネジメントを行い、緊急時はコマンドポストとして、ボランティアである NEATR 隊員を指揮統制する。なお、NEATR は、平常時と緊急時を区別せず、一貫性(Consistency)を保つことを基本形態としている。

コマンダー commander

NEATR という組織の隊長であり、NEATR 戦略本部の戦略会議の議長を務めるという職務を与えられた人。

指令職 command persons

NEATR 戦略本部を構成するメンバーで、地域住民のための原子力緊急時援助隊の規約に基づく総会で、承認されたコマンドポストを構成する NEATR 隊員。基本的には IAEA の「EPR method 2004」に基づき、 5 ± 2 人とし、最低 3 人から対応できるよう NEATR コマンドシステムを構築している。

機能班 command sections

IAEA の「EPR method 2004」に基づき、コマンドポストに設置する、具体的実施計画を立てる「計画班」、実施常用をフォローする「実施班」、支援資機材を準備する「ロジ班」および財政面を掌握する「会計班」の総称。通常、ICS では「Five functions」と呼ばれる。

COP (こっぷ) common operational picture

コマンドポストがコールインドリル、コマンドシステム演習等で用いる作戦図の個別呼称。NEATR コマンドシステムには 2 種類の COP があり、COP 1 を「状況概要図」、COP 2 を「体制概要図」と称している。なお、緊急時には、ライブ動画要請の説明資料として用



Support with heat NEATR!

いる。

ミッション mission

コマンドポストが NEATR 隊員に実施要請をする活動の具体的内容。NEATR 隊員の年齢を考慮し、軽作業が中心となる。地元市町との協定を締結するとか市町地域防災計画に組み込まれるまでは、地元市町の要請に基づいた活動を設定する。ターミノロジーを考慮し、9つのミッションエリアに区分し MS0 から MS9 という付番をいている。

ミッションエリア mission area

NEATR 隊員がミッションを実施する内容や地域をターミノロジーの観点で MS0 から MS9 までの 10 個に区分したもの。MS0 は NEATR 戦略本部、MS1 は避難時用援護者支援、MS2 は一次集合場所支援、MS3 は避難車両中継所支援、MS4 は避難退域時検査支援、MS5 は指定避難所支援、MS6 広域避難所支援、MS7 放射線防護対策支援、MS8 は屋内支援、MS9 は個別指定支援となっている。この番号の下にさらに 1~9 を付番し、実際のミッションシートを作成する。

ターミノロジー terminology

IAEA の「EPR method 2004」に記載された、緊急時の共通言語の使用のこと。趣旨的にはリスクコミュニケーション（別に用語解説がある）の「ワンボイス」を受けたもので、常に緊急時の発生を想定し、平常時から統一された用語を使うこと。なお、この用語解説は、ターミノロジーの観点から作成している。

コールインドリル call-in drill

NEATR 隊員が NEATR コマンドシステムに習熟するために、実働を伴わない在宅方式で行う応答ドリルのこと。NEATR では発足(2016 年 12 月)以来毎年 1 回以上実施しており、2021 年 3 月断面で 5 回目となっている。

コマンドシステム演習 command system exercise

福井県原子力防災訓練などの機会をとらまえて、地元市町と調整した上で実施する、NEATR 隊員の実働を伴う演習。NEATR コマンドシステムの全部の機能を使うフルスコープの演習となっている。NEATR では発足(2016 年 12 月)以前から毎年実施しており、2020 年 8 月断面で 5 回目となっている。

応答チェックボックス

NEATR コマンドウェブの中にある、NEATR 隊員がコマンドポストの要請に対応し、ミッションの実施状況を報告し、また自らの活動のパフォーマンス評価を行うためのサイ



Support with heat NEATR!

ト。表示されたチェックボックスの中から該当する項目を選択することで、迅速な応答できるように工夫している。

ICS フォーム ICS forms

NEATR コマンドウェブの中にある、ICS と 3 つの数字からなる定型のフォーム (様式)。ICS はインシデント対応概要、ICS202 は対応の目的/目標、ICS203 は NEATR 戦略本部体制、ICS204 はミッションエリア体制、ICS205 は情報発受計画、ICS215 は、活動計画前提表の 5 つのフォームが掲載されている。なお、実際の緊急時は NEATR ホームページにこれらのフォームを掲載し、NEATR 隊員がこれを見て目標や安全面留意事項などを把握することとしていたが、迅速性に欠ける為、2021 年 3 月からはライブ動画要請の説明資料として用いることとしている。

ミッションシート mission sheets

NEATR コマンドウェブの中にある、MS と 0 から 9 までの数字からなる定型のフォーム (様式)。具体的な場所を示すため、さらに MS11、MS12・・・等と数字が追加される。なお、実際の緊急時は NEATR ホームページにこれらのシートを掲載し、NEATR 隊員がこれを見て具体的な場所や実施内容を把握することとしていたが、迅速性に欠ける為、2021 年 3 月からはライブ動画要請の説明資料として用いることとしている。

以上